

概要

旭川市内の公共交通による移動は、既存の鉄道やバス、タクシー等によってある程度確保されているものの、クルマを運転できない若年層や高齢者等の交通弱者が、日常生活を営むための最低限の移動手段が確保されない状況が今後ますます拡大する傾向にある。そのため、地域の総合的な交通体系の在り方を検討し、地域公共交通のグランドデザインを策定することが急務となっている。さらに、市内の病院による外来診療用の送迎サービスや、学校等による児童・生徒の通学送迎(スクールバス)、及び商業施設による買物送迎など、既存のバス路線と競合した送迎交通が見られることから、こうした現状を踏まえた公共交通体系の検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR函館本線・宗谷本線・富良野線・石北本線(計18駅)
- ・旭川電気軌道(株)(市内70系統)
- ・道北バス(株)(市内74系統)
- ・スクールバス(市内7小中学校, 高校:5校)

○地域公共交通の課題

- ・公共交通サービスの脆弱地域が存在
- ・モータリゼーションの進展に伴う郊外部の大規模商業施設の開業と中心市街地の空き店舗等の増加
- ・路線バス利用者の減少

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・市民及び利用者ニーズ把握調査
- ・モビリティ・マネジメントの実施
- ・生活交通ネットワーク計画検討

○地域公共交通会議開催状況

- ・平成24年5月25日 旭川市生活交通路線(旭川市単独補助路線)について地域公共交通確保維持改善調査事業について
米飯地域におけるデマンド型交通実証実験運行について
- ・平成25年2月6日 平成24年度 地域公共交通確保維持改善調査事業について
米飯地域におけるデマンド型交通実証実験運行について
ICカードシステムの導入報告について
BF分科会の開催状況, 及び分科会事業の変更について
- ・平成25年3月26日 平成24年度 地域公共交通確保維持改善調査事業について
地域内フィーダー系統確保維持計画について
交通空白地域デマンド型公共交通導入モデル事業について
バス路線の変更・廃止について



旭川市地域公共交通会議 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ・現況交通実態調査 ～市内全域の各路線ごとのカルテ作成
- ・市民及び利用者ニーズ把握調査
～高校生を対象とした公共交通と自転車利用の季節変動分析
- ・モビリティマネジメント実施 ～児童を対象としたMMの実証を2回実施
- ・生活交通ネットワーク計画検討
～持続可能で最適な公共交通の検討及びその円滑な導入方法・スケジュールを検討

●調査事業実施の適切性

適切に実施された。
(H23調査の詳細分析や追加調査により、公共交通の課題が明確となり、地域内フィーダー系統計画の導入につながった)

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

補助対象事業名:地域公共交通確保維持事業「旭川市東旭川町・米飯地区 地域内フィーダー系統確保維持計画」として、路線バスが運行していた区間を主な対象としデマンド型の公共交通を導入する。運行業務の他、予約・配車業務、その他運行に関わる事業を実施する。
実施時期は、H25. 10月を予定



- ⇄ 基幹路線
- ⇄ 旭川空港路線、旭山動物園線
- ▬ バス路線を事業者単独で維持していく地域
- ▬ バス路線の公的補助等による維持を検討していく地域
- 旭川駅周辺
- 結節点

H23,H24に調査したデータに基づき、基幹路線や事業者単独で維持していく地域、公的補助等により維持していく地域を明確化する生活交通ネットワーク計画を策定し、H25年度から順次、事業を実施。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

- ・デマンド型交通の導入に当たっては、既存路線バス等との役割分担や乗り継ぎ円滑化、市内全体の交通体系のあり方にも留意されたい。
- ・将来的な持続可能性にも配慮した運賃及び広告収入等の運賃外収入のあり方並びにそれらを踏まえた自治体及び事業者等の費用分担等とのあり方についても検討されたい。
- ・バリア解消促進等事業についても、実施に向けた所要の調整等進め、早期にこれを含めた生活交通ネットワーク計画を策定されたい。